

# 国際観光文化フォーラム in 下呂

## 「女性目線のおもてなし」を考える

国際観光文化交流協会(藤野公孝会長)と下呂温泉旅館協同組合(瀧多賀男理事長、下呂温泉観光協会(瀧康洋会長)、下呂商工会(中川正之会長)は2日、国際観光文化フォーラムin下呂を岐阜県下呂温泉の水明館で開いた。県内外の観光関係者約300人が参加した。

### 9月2日、水明館で

全日本生活衛生営業指導センターの小宮山健彦専任理事も来賓として出席した。



シンポジウムで意見を述べる各氏

### 開会あいさつ

私たちの協会の名称がさらに飛躍するための中にもその文字が入って、絶好の機会となる。このフォーラムは、観光には遊びや楽しさだけでなく、深い「文化」といった側面がある。今回のフォーラムは、観光の奥行きを深める、観光の大切さを、温泉文化の中で、女性の視点からとらえ、参加者全員で一緒に考えてみようという試みだ。



藤野 公孝氏

## 観光の中身や質をグローバルレベルに

観光の中身も質もグローバルレベルに達していない。本日のフォーラムでは、そのためのヒントをぜひ皆さま一人ひとりに持ち帰っていただきたい。本フォーラムの下呂温泉での開催は、日本温泉協会の会長も長く務めた瀧さんのご尽力で実現した。草津温泉観光協会の中澤敬会長、道後温泉旅館協同組合の大木正治社長など、日本各地から温泉地のリーダーたちも出席されている。日本全国の温泉観光地が研鑽し合い、この日本を世界に冠する観光大国に押し上げて下ろすことを心からお願ひ申し上げる。

## 基調講演

ビジットジャパンキャンペーンがスタートした。2014年1万人となり、昨年同様に26.7%増の1401万人となった。



鈴木 昭久氏

訪日客は、一度来日すると、今度は1週間滞在する。訪日客は、一度来日すると、今度は1週間滞在する。訪日客は、一度来日すると、今度は1週間滞在する。

## 外国人宿泊者 19年に110万人

訪日客のうち、外国人宿泊者は、19年に110万人となった。これは、前年比で約1割増の伸びを示している。訪日客の増加を促すため、中野市は、外国人観光客の受け入れ態勢を整えている。中野市は、外国人観光客の受け入れ態勢を整えている。中野市は、外国人観光客の受け入れ態勢を整えている。

## 「誰もが楽しめるバリアフリー観光」

日本は高齢化社会を迎えた。誰もが、いつ自分も車いす使用者になるかもしれない。誰もが、いつ自分も車いす使用者になるかもしれない。誰もが、いつ自分も車いす使用者になるかもしれない。

ユニバーサルツーリズムの対応を。誰もが、いつ自分も車いす使用者になるかもしれない。誰もが、いつ自分も車いす使用者になるかもしれない。誰もが、いつ自分も車いす使用者になるかもしれない。

## 「おもてなしの心を育む人育ての極意」

研修の依頼を受ける。おもてなしの心を育む人育ての極意。おもてなしの心を育む人育ての極意。おもてなしの心を育む人育ての極意。

## 主催あいさつ

草津温泉で昨年開かれた本フォーラムに参加した。草津温泉で昨年開かれた本フォーラムに参加した。草津温泉で昨年開かれた本フォーラムに参加した。

## 日本の文化を大事に 地方創生の実現を

日本の文化を大事に 地方創生の実現を。日本の文化を大事に 地方創生の実現を。日本の文化を大事に 地方創生の実現を。

## 「おもてなしの心を育てるキレイの習慣」

おもてなしの心を育てるキレイの習慣。おもてなしの心を育てるキレイの習慣。おもてなしの心を育てるキレイの習慣。



泉観光協会の中澤敬会長



橋流日本橋会の田中旭泉師範による筑前琵琶の演奏



下呂のおもてなし



藤野真紀子さん講演での介助犬のデモンストラーション